

平成29年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月11日

上場会社名 株式会社オウケイウェイヴ 上場取引所 名
 コード番号 3808 URL https://www.okwave.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)兼元 謙任
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)野崎 正徳 (TEL)03(5793)1195
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日~平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	1,750	△3.1	50	△59.3	68	△45.3	64	9.1
28年6月期第3四半期	1,806	△12.8	124	—	126	—	59	—

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 50百万円(△14.6%) 28年6月期第3四半期 58百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年6月期第3四半期	7	39	7	36
28年6月期第3四半期	6	78	6	78

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	1,746	81.4	1,434	81.4	1,434	81.4
28年6月期	1,787	76.6	1,382	76.6	1,382	76.6

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 1,421百万円 28年6月期 1,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28年6月期	—	0 00	—	0 00	0 00	0 00
29年6月期	—	0 00	—	0 00	0 00	0 00
29年6月期(予想)	—	0 00	—	0 00	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日~平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,500	3.7	180	16.1	180	26.9	100	36.1	11	46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年6月期3Q	8,732,200株	28年6月期	8,728,300株
29年6月期3Q	60株	28年6月期	60株
29年6月期3Q	8,730,099株	28年6月期3Q	8,719,122株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①全般的概況

当第3四半期連結累計期間（平成28年7月1日～平成29年3月31日）においては、エンタープライズソリューション事業の売上高は、前期から安定的な成長を遂げ、好調に推移しております。ソーシャルメディア事業においては広告売上の減少に対し、企業の顧客サポート支援サービスでの新規受注が得られました。しかしながら、多言語CRM事業における利益を重視した不採算サービスからの撤退の影響などもあり、連結の売上高は1,750,379千円（前年同期比3.1%減）と前期比微減となりました。

利益面においては、営業利益は50,923千円（前年同期比59.3%減）、経常利益は68,964千円（前年同期比45.3%減）と前期比減少であるものの、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、64,490千円（前年同期比9.1%増）となりました。

	当第3四半期 連結累計期間 (千円)	前第3四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	1,750,379	△55,674	△3.1
営業利益	50,923	△74,074	△59.3
経常利益	68,964	△57,158	△45.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	64,490	5,383	+9.1

②事業別概況

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

・ソーシャルメディア事業の概況

ソーシャルメディア事業では、日本最大級のQ&Aコミュニティ「OKWAVE（オウケイウェイヴ）」のほか、Q&Aから派生した複数のサービスを運営しています。

売上高におきましては、「OKWAVE」を活用し企業の顧客サポートを支援する顧客参加型サポートコミュニティツール「OKBIZ. for Community Support」の新規受注などにより堅調に推移しています。一部サービスの外的環境の変化があったことから、前年同期比では減収となっておりますが、通期の当事業売上高予想に対する進捗率は67.3%と概ね予定通りの進捗となっております。利益においては、事業統合により費用の圧縮を実現しておりますが、米国子会社OKWAVE INC.にて、AIなどを活用した先進的な新規サービスへの開発投資を行っていることから前年同期比減益となっております。

	当第3四半期 連結累計期間 (千円)	前第3四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	296,291	△79,445	△21.1
セグメント損失(△)	△60,615	△15,023	-

・エンタープライズソリューション事業の概況

エンタープライズソリューション事業では、FAQ（よくある質問）を作成、編集、公開する一連の流れを搭載した、特許技術を有するシステム「OKBIZ.（オウケイビズ）」など、企業向けのソリューションを提供しています。

売上高におきましては、金融業界の大手企業をはじめとする新規受注などにより前期から順調に導入サイト数を積み重ねていることから、前年同期比7.3%増の売上成長を遂げています。

利益におきましても前年同期比6.7%の増益を達成しています。

	当第3四半期 連結累計期間 (千円)	前第3四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	972,595	66,536	+7.3
セグメント利益	502,291	31,408	+6.7

・多言語CRM事業の概況

連結子会社株式会社ブリックスの主要な事業である多言語CRM事業では、24時間365日体制の多言語コンタクトセンターを運営し、カスタマーサポート業務を提供するとともに、バイリンガルや技術者の派遣等を行っております。

当期におきましては、訪日外国人客の増加や東京五輪開催決定を追い風に、地方自治体や医療分野などの案件が増加しております。これにより多言語コンタクトサービスの基幹事業である電話通訳案件が堅調に伸びております。前期の不採算サービスからの撤退や費用の見直しを徹底したことから、売上は微減であるものの利益は改善しました。

	当第3四半期 連結累計期間 (千円)	前第3四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	481,492	△42,764	△8.2
セグメント利益	100,778	25,913	+34.6

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(ア)資産

当第3四半期連結会計期間末における資産残高は、主に「現金及び預金」の減少により1,746,355千円（前連結会計年度末比40,740千円減少）となりました。

(イ)負債

当第3四半期連結会計期間末における負債残高は、主に「前受金」、「買掛金」及び「未払金及び未払費用」の減少により312,141千円（前連結会計年度末比92,106千円減少）となりました。

(ウ)純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、主に「利益剰余金」の増加により1,434,214千円（前連結会計年度末比51,366千円増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月7日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の項目について簡便な会計処理を適用しておりますが、重要なものではありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	874,835	744,841
受取手形及び売掛金	298,167	282,231
仕掛品	23,947	—
その他	76,062	123,197
貸倒引当金	△886	△834
流動資産合計	1,272,125	1,149,434
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	73,446	73,546
減価償却累計額	△58,150	△60,502
建物及び構築物(純額)	15,295	13,043
工具、器具及び備品	374,718	402,158
減価償却累計額	△312,733	△335,186
工具、器具及び備品(純額)	61,984	66,971
有形固定資産合計	77,280	80,014
無形固定資産		
ソフトウェア	20,624	49,826
ソフトウェア仮勘定	23,917	25,089
その他	14,073	14,694
無形固定資産合計	58,615	89,610
投資その他の資産		
投資有価証券	174,141	253,541
その他	267,611	232,425
貸倒引当金	△62,678	△58,670
投資その他の資産合計	379,074	427,295
固定資産合計	514,970	596,921
資産合計	1,787,096	1,746,355
負債の部		
流動負債		
買掛金	45,388	29,352
未払金及び未払費用	172,630	164,089
未払法人税等	16,944	7,978
短期借入金	1,000	—
1年内返済予定の長期借入金	7,200	7,200
その他	104,683	52,449
流動負債合計	347,847	261,070
固定負債		
長期借入金	23,600	18,200
資産除去債務	32,800	32,871
固定負債合計	56,400	51,071
負債合計	404,247	312,141

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,007	984,017
資本剰余金	952,807	953,817
利益剰余金	△562,273	△497,782
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,373,505	1,440,015
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,604	△18,082
その他の包括利益累計額合計	△4,604	△18,082
新株予約権	12,047	11,096
非支配株主持分	1,900	1,184
純資産合計	1,382,848	1,434,214
負債純資産合計	1,787,096	1,746,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	1,806,054	1,750,379
売上原価	1,002,839	881,963
売上総利益	803,214	868,415
販売費及び一般管理費	678,216	817,492
営業利益	124,997	50,923
営業外収益		
受取利息	754	1,013
為替差益	—	18,467
貸倒引当金戻入額	799	4,007
雑収入	1,485	625
営業外収益合計	3,039	24,114
営業外費用		
支払利息	660	525
関係会社整理損	82	—
為替差損	1,093	—
支払手数料	—	5,000
雑損失	77	547
営業外費用合計	1,914	6,073
経常利益	126,123	68,964
特別利益		
固定資産売却益	—	300
投資有価証券売却益	—	1,840
新株予約権戻入益	—	388
特別利益合計	—	2,528
特別損失		
固定資産除却損	598	109
減損損失	14,838	3,034
投資有価証券評価損	48,359	—
特別損失合計	63,796	3,144
税金等調整前四半期純利益	62,326	68,349
法人税、住民税及び事業税	9,981	4,574
法人税等調整額	△6,761	—
法人税等合計	3,219	4,574
四半期純利益	59,106	63,774
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△715
親会社株主に帰属する四半期純利益	59,106	64,490

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	59,106	63,774
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△223	△13,478
その他の包括利益合計	△223	△13,478
四半期包括利益	58,883	50,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,883	51,011
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△715

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル メディア 事業	エンタープライ ズソリューション 事業	多言語CRM 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	375,737	906,059	524,257	1,806,054	—	1,806,054
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,250	1,041	3,291	△3,291	—
計	375,737	908,309	525,299	1,809,346	△3,291	1,806,054
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	△45,592	470,883	74,864	500,155	△375,157	124,997

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに
帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ソーシャルメディア事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては14,838千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	ソーシャル メディア 事業	エンタープライズ ソリューション 事業	多言語CRM 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	296,291	972,595	481,492	1,750,379	—	1,750,379
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,250	114	2,364	△2,364	—
計	296,291	974,845	481,607	1,752,744	△2,364	1,750,379
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	△60,615	502,291	100,778	542,454	△491,530	50,923

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに
帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ソーシャルメディア事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては3,034千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、経営の合理化及び事業の効率的運営を図るため、管理区分の見直しを行い、従来の「ナレッジマーケット事業」を「ソーシャルメディア事業」として再編し、一部のサービスを現在の運営実態に合わせ「エンタープライズソリューション事業」から「ソーシャルメディア事業」に移管しております。これに伴い、報告セグメントを4区分から「ソーシャルメディア事業」「エンタープライズソリューション事業」「多言語CRM事業」の3区分としております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成しております。